



重症筋無力症サイト「My colorinG」は重症筋無力症(MG)についての情報を発信しているWEBサイトです。MGの病気や治療のこと、医療費や生活のサポートに関する情報、患者さんの日々の生活に役立つ情報などを提供しています。
また、リスティーゴ®を処方されているMG患者さんとそのご家族のために、リスティーゴ®での治療に関する情報も掲載しています。

重症筋無力症サイト「My colorinG」

<https://ucbcares.jp/ja/patients/gMG/ja/>



医療機関名

電話番号

()

主治医

電話番号

()

UCB Cares®
ユーシービーケアーズ コンタクトセンター

TEL:0120-093-189
受付時間 9:00~17:30(土日・祝日・会社休日を除く)



自己注射を始める患者さんと ご家族の方へ

リスティーゴ[®]は、全身型重症筋無力症の治療に用いる注射薬です。

リスティーゴ[®]による治療は、医師や看護師、薬剤師の指導のもと医療機関で開始し、患者さんやご家族の方が注射ができると医師が判断した場合に自己注射^{*}を開始します。

※自己注射とは、患者さんご自身やご家族の方によって行われる注射のことです。

このガイドブックでは、

正しく安全に自己注射するための方法をご紹介します。

自己注射について、わからないことや不安に思うことがありましたら医師や看護師、薬剤師にご相談ください。



◀ 動画「自己注射をはじめるために」は
こちらからご確認ください

リスティーゴ[®]の成分に対し、過敏症を起こしたことのある患者さんは
リスティーゴ[®]は投与できません。

目次

Step
1

注射の前に

リスティーゴ [®] について	02
自己注射開始までのステップ	04
自己注射に必要なもの	05
保管方法	06

Step
2

注射の準備

薬剤の調製	08
-------	----

Step
3

注射の手順

手押し(マニュアルプッシュ)で投与する患者さんの手順	14
シリンジポンプを使用して投与する患者さんの手順	20

Step
4

注射の後に

片付け	26
日々の記録をしましょう	27
リスティーゴ [®] の副作用	28

Step
5

その他

Q&A	29
リスティーゴ [®] 自己注射確認チェックシート	31

Step
1

注射の前に

リストイゴ[®]について

お薬について

リストイゴ[®]は皮下注射をするお薬です。

薬液量	2ml	3ml
成分含量	280mg	420mg
製品写真		

投与量について

1回の注射で投与する薬液量は体重により異なります。

必要なバイアルの本数は下記の表の通りですが、体重に変動があった場合は、患者さんご自身の判断で投与量を変更せず、主治医に相談してください。

体重	投与量
50kg 未満	280mg/2ml
50kg 以上 70kg 未満	420mg/3ml
70kg 以上 100kg 未満	560mg/4ml
100kg 以上	840mg/6ml

投与スケジュール

リストイゴ[®]は6週間を1サイクルとして、週に1回皮下注射するお薬です。

1サイクル：6週間

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
1週目							
2週目							
3週目							
4週目							
5週目							
6週目							

基本的に週に1回、
毎週同じ曜日に皮下注射します。

次のサイクルを開始するかどうかや、開始する時期については、患者さんの体の状態や症状などによって主治医が判断します。
予定されていた日にリストイゴ[®]の投与を行えない場合、注射のタイミングは主治医に相談してください。

Step
1

注射の前に

自己注射開始までのステップ

リスティーゴ[®]による治療開始後、自己注射を希望するかどうか、医師と相談してください。自己注射を希望する患者さんは、自己注射の方法やリスティーゴ[®]の保管・廃棄方法などについて十分に説明を受け、自己注射のトレーニングを開始します。医療機関で十分なトレーニングを実施したあと、患者さんがリスティーゴ[®]投与による危険性と対処法を理解していること、患者さんやご家族の方が確実に自ら投与できることを医師が確認し、自己注射の適応を判断します。

リスティーゴ[®]での治療を開始

自己注射を希望

自己注射を希望しない
医療機関で投与を継続

自己注射のトレーニングを行う

確実に自己注射できることを確認する

できるまで
何度も

確実に自己注射ができている

自己注射が
できていない

確実に自己注射できることを医師が確認した上で、
ご自宅で自己注射を開始

本冊子p31に「リスティーゴ[®]自己注射確認チェックシート」がございます。必要に応じてご活用ください。

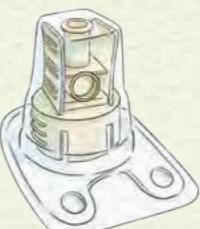
自己注射に必要なもの

インジェクションセット(投与セット)

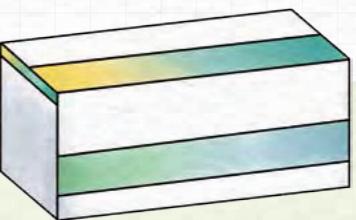
インジェクションセットには1回の投与に必要な以下のものが含まれています。



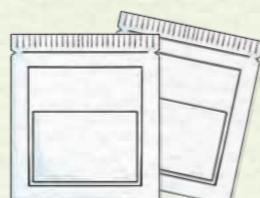
投与チューブ付き翼状針
(チューブ長 29cm/60cm 各 1 本)



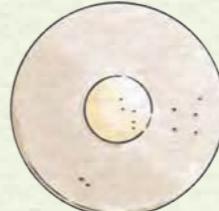
ツートック[®]
(採液針) 2個



ロック式 10ml
シリンジ 1 本



アルコール綿 2 枚



絆創膏 1 枚



体重別の必要本数 (p2 参照)

リスティーゴ[®]バイアル

インジェクションセットとバイアル以外に準備するもの



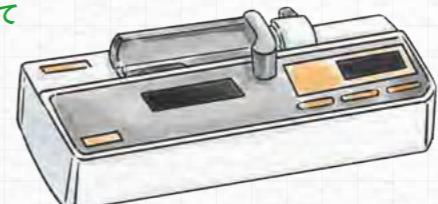
固定テープ^{*}
注射の際に、翼状針を固定します



コットン・脱脂綿^{*}
注射部位から血が出た場合など、
必要に応じて使用します。

シリンジポンプを使用して
投与する患者さんのみ

充電した
シリンジポンプ



回収ボックス

*固定テープ、コットン・脱脂綿は患者さんご自身でご用意ください。

Step
1

注射の前に

保管方法

リストイゴ[®]は、冷蔵庫で保管してください。

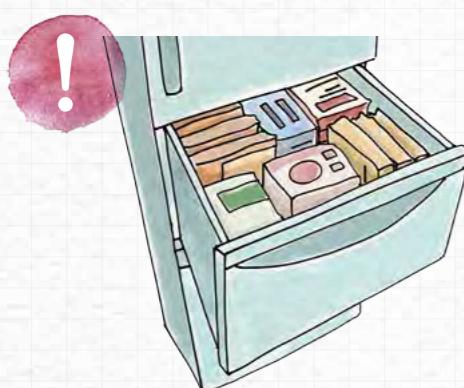
保管の方法

リストイゴ[®]は外箱ごと、冷蔵庫(2~8°C)に入れてください。

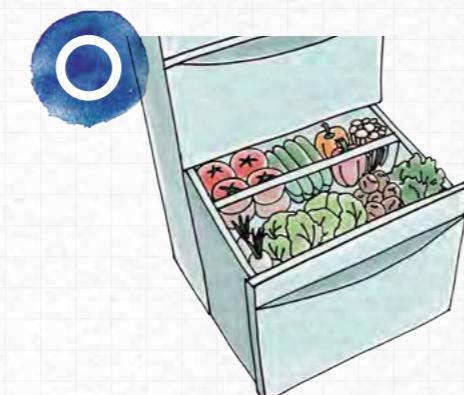
- 一度室温に戻したリストイゴ[®]は、再冷蔵できません。
- 持ち運ぶ際には、保冷バッグを使用してください。



チルド室、吹き出入口付近、
ドアポケットでの保管はでき
ません。



冷凍庫での保管はできません。



野菜室での保管は可能です*。

* 設定温度が2~8°Cの場合

バイアルを室温に戻す際の注意

バイアルを室温に戻す際は、以下の場所には置かないよう注意してください。



直射日光が当たる場所には置かないで
ください。



お子さんの手が届く範囲に置かないで
ください。

- 保管方法を逸脱したお薬は使用できません。
- 保管の不備を理由に新しいお薬を処方してもらう場合、診察料および薬剤料は保険適用外となりますので、ご注意ください。

Step
2

注射の準備

5. 翼状針の袋を開ける

バイアル操作を行う前に、チューブ付き翼状針の袋を開けます。
中身は取り出さず、袋の中に入れたままにしておき、使用時にすぐに取り出せるよう準備をしておきます。
チューブ付き翼状針は、チューブの長さが29cmと60cmの2種類あります。
手押し(マニュアルプッシュ)で投与する患者さん: 29cmを使用
シリンジポンプを使用して投与する患者さん: 基本は60cmを使用*
※主治医から特別に指示があった場合のみ29cmを使用

6. バイアルの保護キャップを外し、消毒する

バイアルの保護キャップを外し、1枚目のアルコール綿で
バイアルのゴム栓を消毒後、乾くまで待ってください。
ゴム栓部分には触れないでください。



7. ツートック®(採液針)をバイアルに取りつける

ツートック®(採液針)の包装を開け、透明のカバーごとツートック®(採液針)を持ちます。バイアル接続部の内側の針を、バイアルのゴム栓部分に刺し込みます。この際、安定した台の上で、バイアルの栓の上にツートック®(採液針)を置き、上からまっすぐに押し込んでください。



POINT
バイアルを2本以上使用する患者さんは、
あらかじめ必要本数にツートック®(採液針)を取りつけ、
2本目以降はカバーを外さずに置いておきます。

8. ツートック®(採液針)にシリンジを取りつける

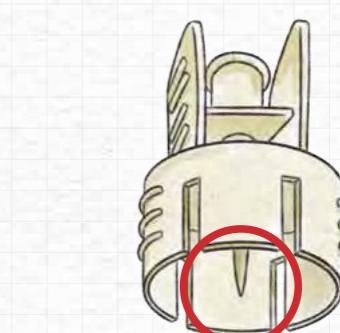
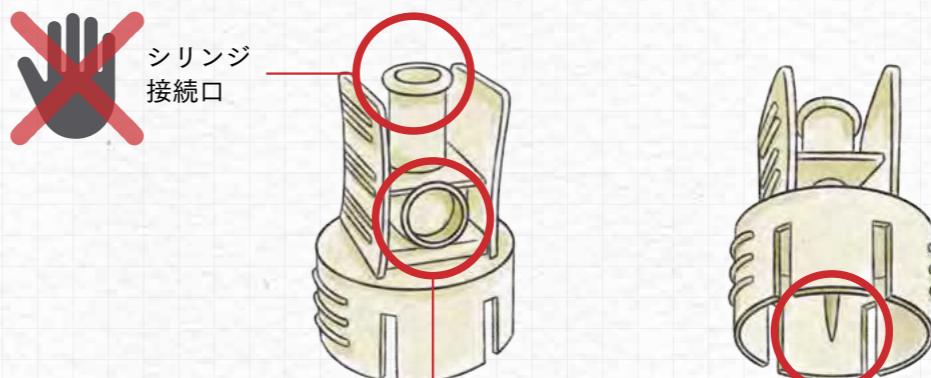
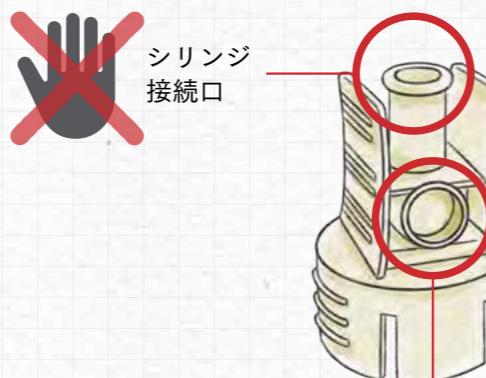


バイアルを取りつけたツートック®(採液針)のカバーを
外し、シリンジ接続口にシリンジをセットし、時計回りに
回転させながらシリンジを取りつけます。

POINT

ツートック®(採液針)について

ツートック®(採液針)のバイアル接続部、シリンジ接続口およびフィルターには
触れないでください。



看護師からのアドバイス

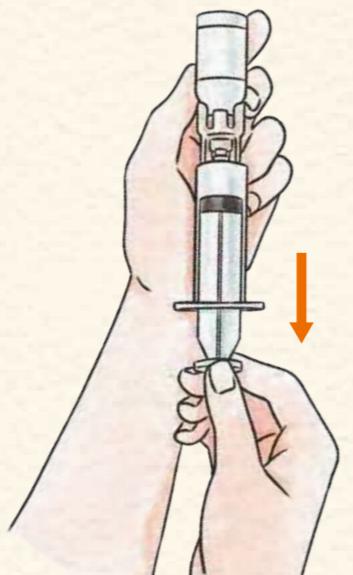
ツートック®(採液針)は必ずバイアルに対してまっすぐに
刺します。斜めに刺すと、ゴム片が薬液の中に入ってしまう
場合があります。ゴム片が薬液内に入ってしまった場合、その
バイアルは使用してはいけません。

Step
2

注射の準備

9. シリンジに薬液を抜き取る

バイアルを逆さにし、プランジャーをゆっくり引いてバイアルの中の薬液を抜き取ります。泡立ちやすいので、薬液を抜き取るときは、プランジャーをゆっくりと引いてください。大きな気泡がシリンジに入った場合、シリンジを軽く叩いてできるだけ泡を上に移動させ、プランジャーをゆっくりと押して気泡をシリンジから押し出してください。



POINT バイアル内の薬液は必ず全量抜き取ってください。

10. シリンジをツートック[®](採液針)から外す

シリンジを左回りに回転させて、ツートック[®](採液針)からシリンジを取り外します。

使用するバイアルが1本の患者さんはこれで注射の準備は完了です。

11. バイアルを2本以上使用する患者さんは、
注射の準備8~10を繰り返す

バイアルを2本以上使用する患者さんは、2本目以降のバイアルの薬液もシリンジ内に抜き取ります。

Step
3

注射の手順

手押し(マニュアルプッシュ)で
投与する患者さんの手順

リストイゴ[®]の投与方法は以下の2種類があります。

①手押し(マニュアルプッシュ)で投与する方法p14(本ページ)～

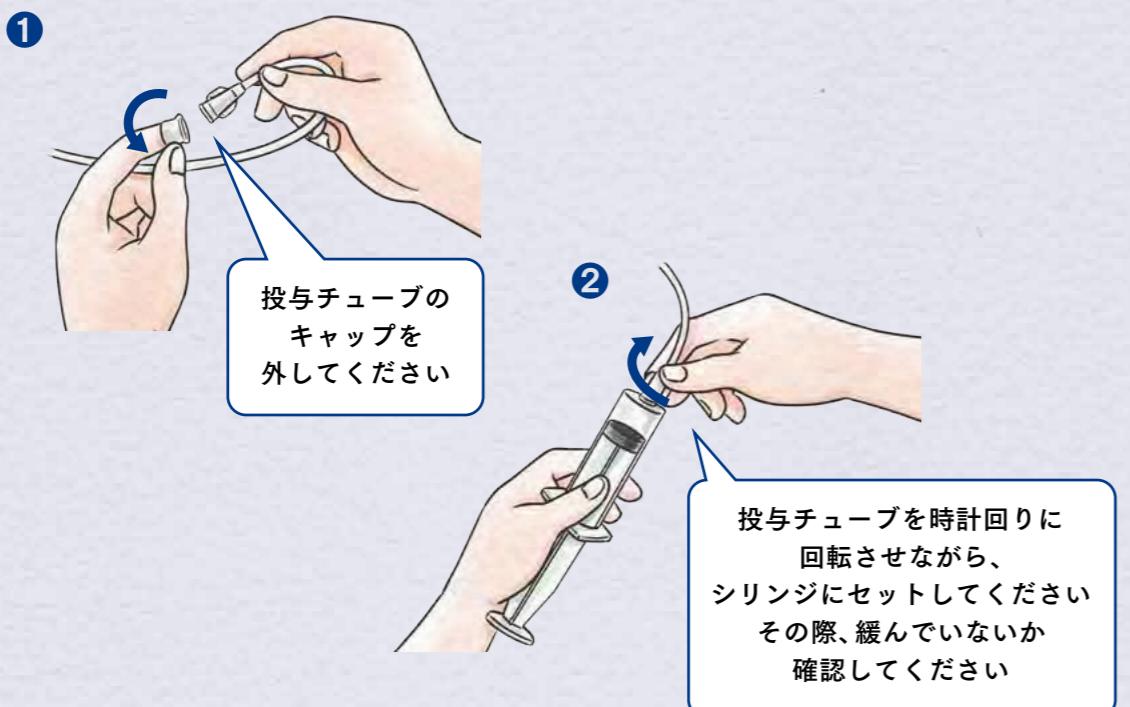
②シリンジポンプを使用して投与する方法p20～

必ず医療機関で指示された方法で投与を行ってください。

1. チューブ付き翼状針(29cm)を、
リストイゴ[®]調製済みのシリンジに取りつける

あらかじめ開封済みのチューブ付き翼状針(29cm)をリストイゴ[®]調製済みのシリンジに取りつけます。

投与チューブのキャップを外し、チューブを時計回りに回転させながら、シリンジにセットします。

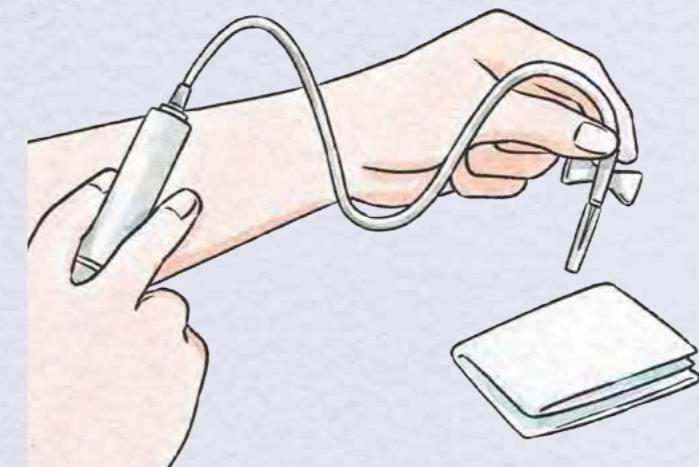


POINT 投与チューブとシリンジの接続部に触れてはいけません。

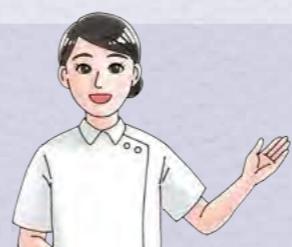
2. プランジャーを押し、針先まで薬液で満たし、
投与量に合わせる

シリンジを上に向けて、プランジャーをゆっくりと押し、空気を抜いて針先までお薬を満たします。

シリンジの目盛りを体重ごとの投与量に合わせてください。



体重	投与量
50kg 未満	2ml
50kg 以上 70kg 未満	3ml
70kg 以上 100kg 未満	4ml
100kg 以上	6ml



看護師からのアドバイス

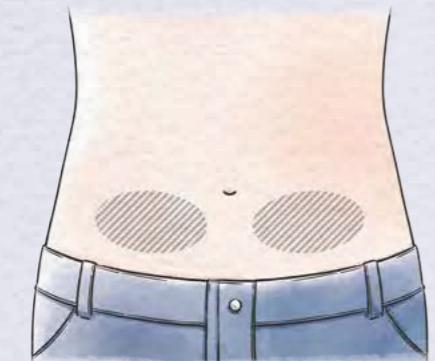
翼状針のキャップはつけたまま、作業を行ってください。
チューブの空気は抜く必要がありますが、小さな気泡は残っていても問題ありません。

Step
3

注射の手順

3. 投与部位を決める

投与部位はへそより下の左右下腹部から選びます。



投与してはいけない部位

- へそ周り 5cm 以内
- 皮膚に異常がある部位
(皮膚の異常の例: 押すと痛い、赤い、あざがある、かたくなっている、きずあとがある)

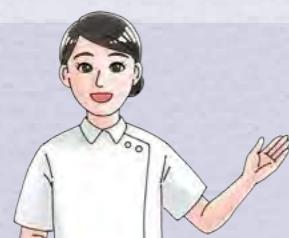


看護師からのアドバイス

注射部位を事前に保冷剤などで冷やしておくと痛みを感じにくくなります。冷やした後にアルコール綿で消毒を行ってください。

4. 投与部位の消毒

アルコール綿を使用して、注射部位を広めに拭き、乾くまで10秒以上待ってください。消毒した注射部位には触らないでください。

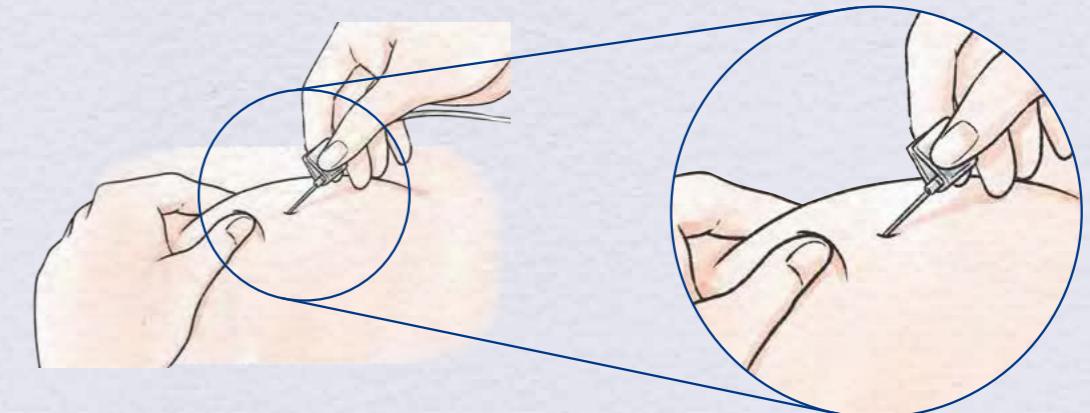


看護師からのアドバイス

中心から円を描くように広く拭きます。
また、一度消毒した部位には触らないことで投与部位の清潔を保てます。

5. 投与部位の皮膚をつまみ、皮下組織に翼状針を刺す

翼状針のキャップを外します。翼状針を持っていない方の手で、消毒した部位をしっかりとつまみます。つまんだ皮膚に対して約60°の角度で針を刺します。針が完全に入ったらつまんだ皮膚を離します。



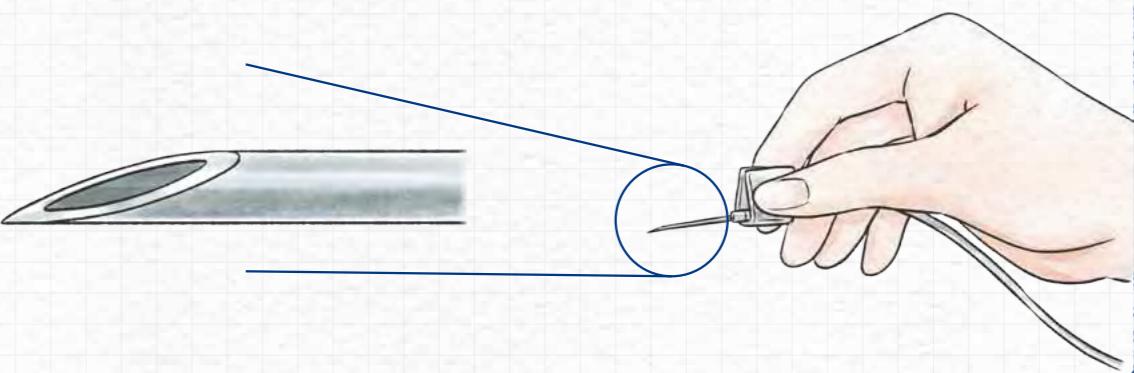
看護師からのアドバイス

針を刺す際、深呼吸をし、息を吐いているときに針を刺すと、痛みを感じにくくなるといわれています。

POINT

翼状針の持ち方

翼状針はざらざらしている側が外側になるように翼を折りたたみ、親指と人差し指でつまみます。この持ち方で、針先が上になります。
針を刺す際は針先を上にしてください。

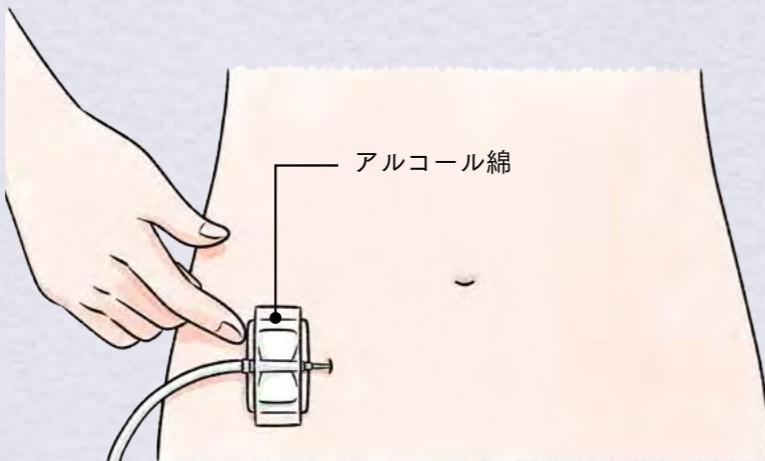


Step
3

注射の手順

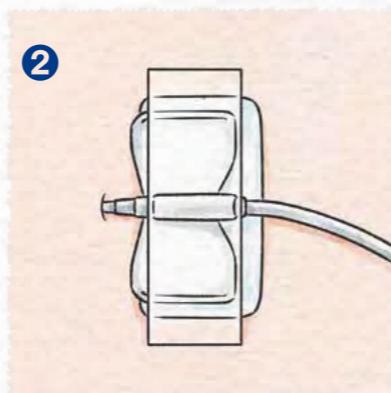
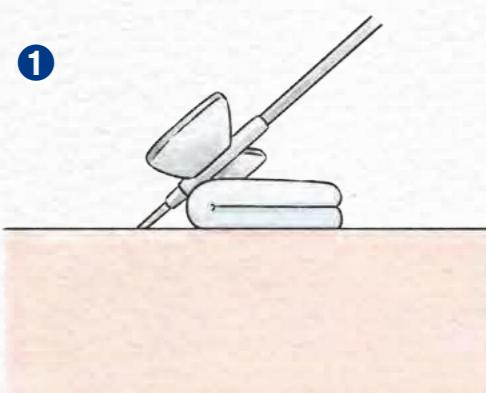
6. 翼状針を固定する

固定テープを用いて翼状針を固定します。



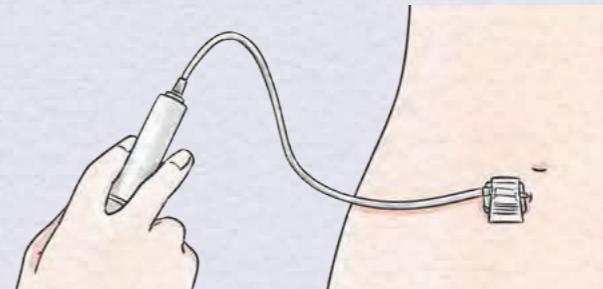
POINT 翼状針の固定の仕方

- ① 翼状針の下に畳んで厚みを出したアルコール綿をはさみます。
- ② 上からテープを貼って固定します。



7. プランジャーを押し込む

翼状針のチューブにねじれがないことを確認します。ねじれている場合はプランジャーを押す前にねじれを直してください。プランジャーをゆっくりと押して薬液を全量投与します。



POINT プランジャーを押す際に違和感がある場合は投与を中止し、その後の投与については主治医に連絡してください。

8. 紋創膏を貼る準備をし、固定テープを外し、針を抜く

シリンジをテーブルに置き、紋創膏を貼る準備をします。利き手にシリンジを持ち、固定テープを外し、針を抜きます。

POINT 針を抜いた後、針先に触れないよう十分に注意してください。

9. 注射部位に紋創膏を貼り、
翼状針とシリンジを回収ボックスに入れる

針先に触れないよう十分注意しながら、注射部位に紋創膏を貼ります。翼状針、シリンジの順で回収ボックスに入れます。



看護師からのアドバイス

注射部位の腫れが引かない、出血が止まらないなどの異常が認められた場合は主治医に連絡してください。注射後、注射部位をこすったり、もんだりしないでください。

これで注射は終了です。
「注射の後に」は、p26以降を参照してください。

Step
3

注射の手順

シリンジポンプを使用して
投与する患者さんの手順

リスティーゴ[®]の投与方法は以下の2種類があります。

- ①手押し(マニュアルプッシュ)で投与する方法p14~
 - ②シリンジポンプを使用して投与する方法p20(本ページ)~
- 必ず医療機関で指示された方法で投与を行ってください。

1. チューブ付き翼状針を、

リスティーゴ[®]調製済みのシリンジに取りつける

あらかじめ開封済みのチューブ付き翼状針(60cm*)をリスティーゴ[®]調製済みのシリンジに取りつけます。

※主治医から特別に指示があった場合のみ29cmを使用します。

投与チューブのキャップを外し、チューブを時計回りに回転させながら、シリンジにセットします。



投与チューブの
キャップを
外してください

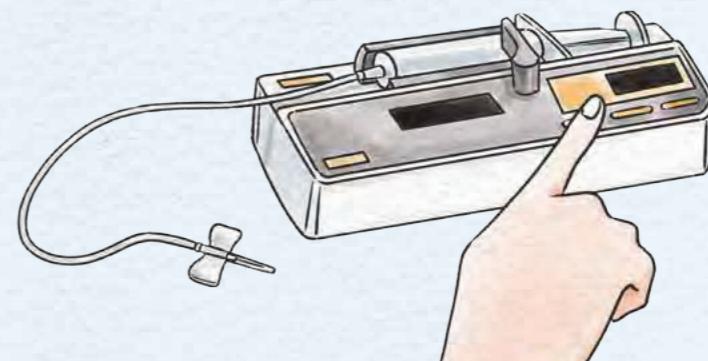


投与チューブを時計回りに
回転させながら、
シリンジにセットしてください
その際、緩んでいないか
確認してください

POINT
投与チューブとシリンジの接続部に触れてはいけません。
シリンジポンプにセットする前にチューブを
薬液で満たさないでください。

2. シリンジポンプの設定を行う

シリンジポンプの設定は、シリンジポンプの種類により異なる可能性があります。
医療機関に指示された方法で実施してください。



- ①明るく安定した清潔な場所に充電したシリンジポンプを用意します。
- ②シリンジポンプの電源を入れます。
- ③チューブ付き翼状針を取りつけたシリンジをセットします。
- ④流量(投与速度)を設定します。20ml/h以下の速度で投与します。
- ⑤シリンジポンプの早送り機能を使用して、針先まで薬液で満たしながらシリンジ内の薬液を投与量に合わせます。

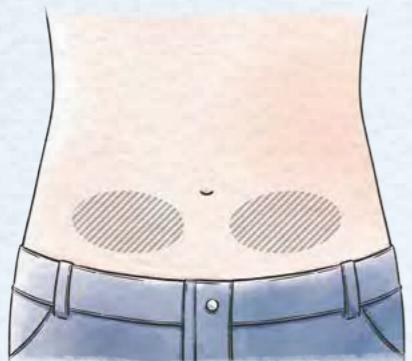
体重	投与量	投与時間(目安)
50kg未満	2ml	6分~
50kg以上70kg未満	3ml	9分~
70kg以上100kg未満	4ml	12分~
100kg以上	6ml	18分~

Step
3

注射の手順

3. 投与部位を決める

投与部位はへそより下の左右下腹部から選びます。



投与してはいけない部位

- へそ周り5cm以内
- 皮膚に異常がある部位
(皮膚の異常の例: 押すと痛い、赤い、あざがある、かたくなっている、きずあとがある)



看護師からのアドバイス

注射部位を事前に保冷剤などで冷やしておくと痛みを感じにくくなります。冷やした後にアルコール綿で消毒を行ってください。

4. 投与部位の消毒

アルコール綿を使用して、注射部位を広めに拭き、乾くまで10秒以上待ってください。消毒した注射部位には触らないでください。

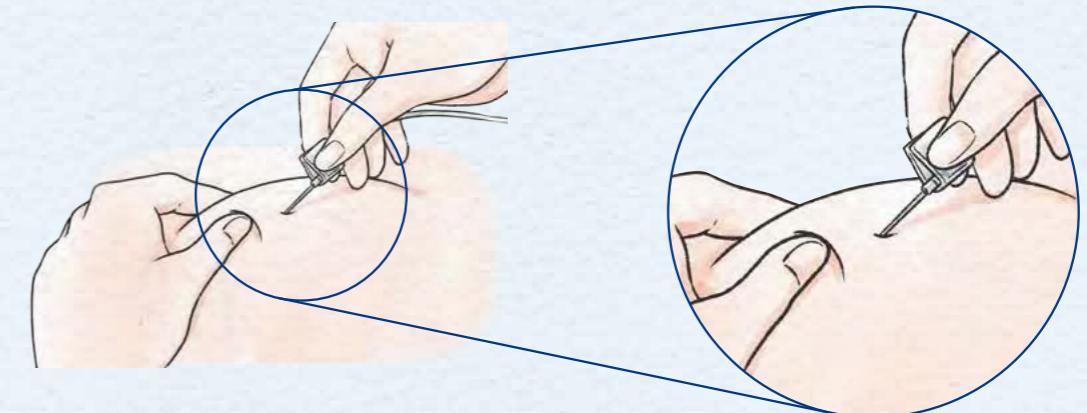


看護師からのアドバイス

中心から円を描くように広く拭きます。
また、一度消毒した部位には触らないことで投与部位の清潔を保てます。

5. 投与部位の皮膚をつまみ、皮下組織に翼状針を刺す

翼状針のキャップを外します。翼状針を持っていない方の手で、消毒した部位をしっかりとつまみます。つまんだ皮膚に対して約60°の角度で針を刺します。針が完全に入ったらつまんだ皮膚を離します。



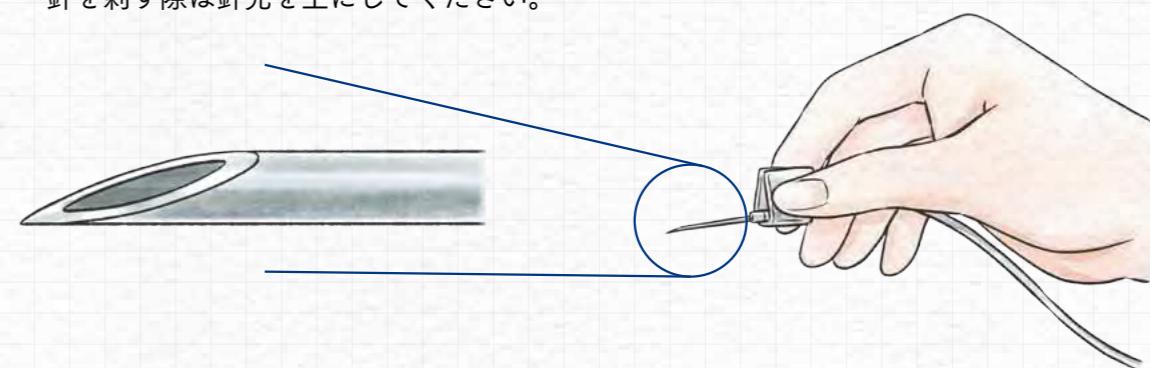
看護師からのアドバイス

針を刺す際、深呼吸をし、息を吐いているときに針を刺すと、痛みを感じにくくなるといわれています。

POINT

翼状針の持ち方

翼状針はざらざらしている側が外側になるように翼を折りたたみ、親指と人差し指でつまみます。この持ち方で、針先が上になります。
針を刺す際は針先を上にしてください。

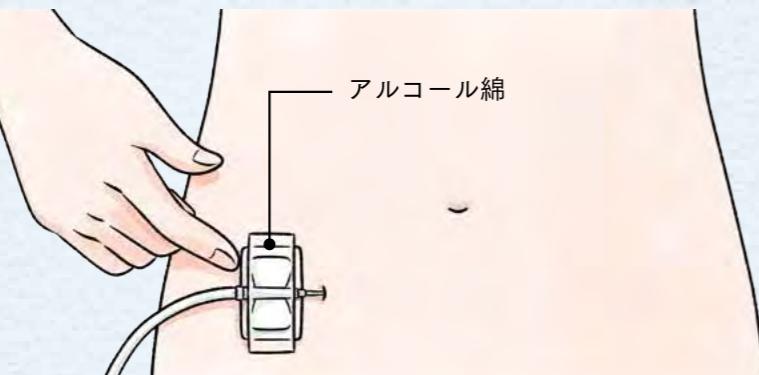


Step
3

注射の手順

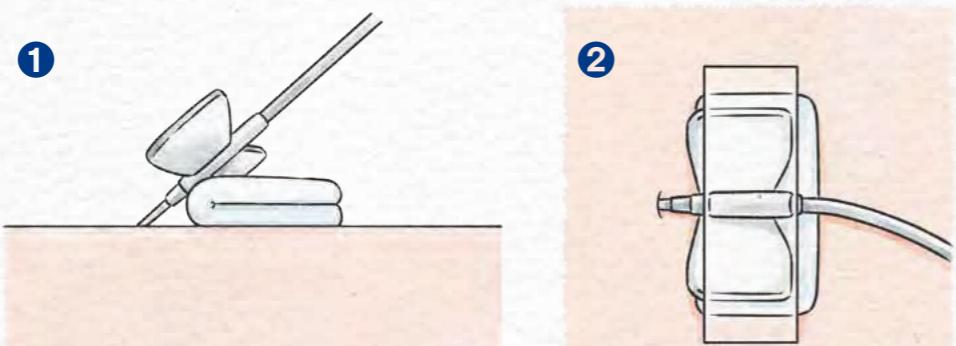
6. 翼状針を固定する

固定テープを用いて翼状針を固定します。



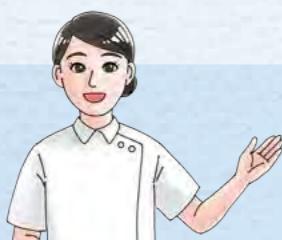
POINT 翼状針の固定の仕方

- ① 翼状針の下に疊んで厚みを出したアルコール綿をはさみます。
- ② 上からテープを貼って固定します。



7. シリンジポンプで投与を開始する

開始スイッチを押して、投与を開始します。



看護師からのアドバイス

投与中にシリンジポンプの異常(閉塞など)が生じた場合は、投与を中断し、主治医に連絡してください。

8. 薬液を全量投与し終えたらシリンジポンプを止める

残液が少なくなると、シリンジポンプのランプが橙色に点灯し、警報音が鳴ります。消音ボタンを押して投与を継続してください。

薬液が完全になると、シリンジポンプのランプが赤色に点滅し、警報音が鳴ります。消音スイッチを押し、警報音を止めてからシリンジポンプの停止ボタンを押してください。

9. シリンジポンプからシリンジを外し、絆創膏を貼る準備をする

シリンジポンプからシリンジを外し、シリンジをテーブルに置きます。絆創膏を貼る準備をします。

10. 固定テープを外し、針を抜く

利き手にシリンジを持ち、固定テープを外し、針を抜きます。

POINT 針を抜いた後、針先に触れないよう十分に注意してください。

11. 注射部位に絆創膏を貼り、
翼状針とシリンジを回収ボックスに入れる

針先に触れないよう十分注意しながら、注射部位に絆創膏を貼ります。翼状針、シリンジの順で回収ボックスに入れます。



看護師からのアドバイス

注射部位の腫れが引かない、出血が止まらないなどの異常が認められた場合は主治医に連絡してください。注射後、注射部位をこすったり、もんだりしないでください。

これで注射は終了です。

「注射の後に」は、p26以降を参照してください。



注射の後に

片付け

回収ボックスに入れるもの

- 使用後のバイアル、ツートック[®](採液針)、シリンジ、チューブ付き翼状針はすべて回収ボックスに入れてください。
- 未使用のチューブ付き翼状針、ツートック[®](採液針)も回収ボックスに入れてください。
- 回収ボックスは、リストイゴ[®]投与1サイクル(6回)終了後、医療機関・薬局にお持ちください。

指示がない限り家庭ごみとして捨てるもの

- 使用済みのアルコール綿、絆創膏、投与チューブのキャップ、翼状針のキャップ、バイアルの保護キャップは、医療機関・薬局から指示がない限り、家庭ごみとして各市区町村の収集方法にしたがって捨ててください。

シリンジポンプ

- きれいに拭いてから自宅で保管してください。
- 次回の投与の前に、シリンジポンプを充電してください。

日々の記録をしましょう

注射が終わったら、「つながるノート」や「ONWARDにつながるアプリ」に体調の変化や注射についての記録をしましょう。日々の記録により、体調の変化や症状の改善の程度を把握しやすくなります。

ONWARDにつながるアプリ

「ONWARDにつながるアプリ」では日々の記録のほか、LINEプッシュ通知により自己注射のタイミングをお知らせしたり、重症筋無力症についての情報を入手したりすることができます。

My colorinG

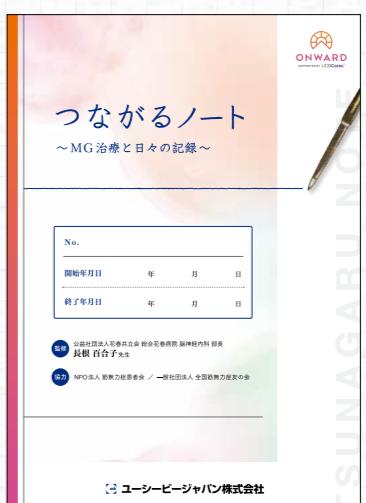


機能の詳細は患者さん向けサイト
My colorinGの「ONWARDにつながる
アプリ」紹介ページをご確認ください。

スマートフォンなどでこの
二次元コードを読み取ってください。

つながるノート

つながるノートでは日々の記録のほか、治療ゴールの設定や、スコア化した体調をグラフとして記録することができます。
診察時にはつながるノートを持参してください。





注射の後に

リスティーゴ[®]の副作用

リスティーゴ[®]による治療で、以下の副作用があらわれる可能性があります。症状があらわれた場合には、速やかに主治医に連絡してください。

感染症の重症化

感染症の主な症状として、発熱・頭痛、咳・のどの痛み、寒気、腹痛・下痢などがあらわれる可能性があります。

無菌性髄膜炎

リスティーゴ[®]により薬剤性の無菌性髄膜炎が生じてしまう可能性があります。無菌性髄膜炎の症状：40°Cくらいの高熱・頭痛、吐き気がする・吐いてしまう、首を曲げにくい・曲げると痛い(頸部硬直)など

その他の主な副作用

その他の主な副作用として、発熱、頭痛・片頭痛、下痢、吐き気がする、吐いてしまう、関節痛、筋肉痛、注射部位の反応(ぶつぶつができる、赤い盛り上がりができる、内出血ができるなど)、注射部位以外の発疹・皮疹(皮膚にぶつぶつができる、皮膚が赤く盛り上がるなど)、ヘルペスウイルス感染(単純ヘルペス、口腔ヘルペス、帯状疱疹)などがあらわれることがあります。

上記の症状以外にも、異常があらわれた場合には副作用の可能性がありますので、必ず主治医に相談し、指示にしたがってください。



その他

Q & A

Q 注射が終わる前に針先が抜けてしまいました。
どうしたらよいですか？

A 途中で針が抜けないように、自己注射の際は十分注意してください。
一度刺した針を再度刺すことはせずに、主治医に連絡してください。

Q 誤って注射部位以外に刺してしまいました。
どうしたらよいですか？

A 一度刺した針を再度刺すことはしないでください。
主治医に連絡してください。

Q シリンジポンプがうまく使えません(使用方法がわからない、異常が出るなど)。どうしたらよいですか？

A シリンジポンプの使用方法については、医療機関へお問い合わせください。
必ず医療機関から指示された方法で投与を行ってください。

Q 注射の痛みを和らげる方法はありますか？

A 注射をする部位の感覚を鈍くするために、保冷剤などで冷やす方法があります。
また、薬液が冷たいと一般的に痛みを感じることがありますのでしっかりと室温に戻してから注射してください。

Q 注射を行う日に、注射するのを忘れてしまいました。
どうしたらよいですか？

A 予定の日に投与できなかった場合、主治医に連絡して投与スケジュールについて確認してください。

Q 注射を行うのは何時がよいですか？

A 何時に注射しても問題ありません。

Q&A

Q 注射の速度(プランジャーを押し込む速度)はどうしたらよいですか?

A 手押し(マニュアルプッシュ)で投与する患者さんは、痛みを感じない速度で投与してください。臨床試験では平均5分程度(1分~30分)でした。シリングポンプを使用して投与する患者さんは、決められた速度(20ml/h以下)で投与してください。

Q 体重が大幅に変わりました。どうしたらよいですか?

A 体重の変化があった場合には主治医に相談してください。体重が変化しても、患者さんご自身の判断で投与量を変更してはいけません。

Q 体調がすぐれない場合はどうしたらよいですか?

A 体調がすぐれない場合は、無理せずに主治医に相談してください。

Q リスティーゴ®と一緒に他のお薬も処方されました。一緒に使用しても大丈夫ですか?

A 処方されたお薬は、医師の指示通り使用してください。ご自身の判断でお薬の使用を中止しないでください。

Q 自己注射をした後に、お風呂に入っても大丈夫ですか?

A 自己注射を行った日の入浴は可能ですが、投与直後は避けてください。

Q 風邪のような症状がありますが、リスティーゴ®の注射をしてもよいですか?

A リスティーゴ®の注射により感染症の重症化のリスクが増加します。風邪のような症状が出た場合には、リスティーゴ®の投与は中止し、主治医に連絡してください。

リスティーゴ®自己注射確認チェックシート

自己注射の方法について患者さんまたはご家族の方が理解したことを確認するためのチェックシートです。必要に応じてご活用ください。

日付 / / / /

リスティーゴ®を投与する上で

リスティーゴ®の投与スケジュールを理解している
保管方法を理解している

リスティーゴ®の副作用を理解し、症状を認めたときの対処法を理解している
注射の準備

バイアルを室温に戻すことができる
必要なものを準備し、用意したものに異常がないか確認できる

手を洗うことができる

バイアルの保護キャップを外すことができる

ツートック®(採液針)の使い方がわかり、バイアルとシリングに取りつけることができる

シリングに薬液を抜き取ることができる

シリングをツートック®(採液針)から外すことができる

自身に必要な投与量を理解している

注射の手順～手押し(マニュアルプッシュ)で投与する患者さん～

チューブ付き翼状針をリスティーゴ®調製済みのシリングに取りつけることができる

プランジャーを押し、チューブの先端まで薬液で満たし、投与量に合わせることができる

投与部位を決め、消毒することができる

投与部位の皮膚をつまみ、翼状針を刺すことができる

翼状針を固定し、プランジャーを押し込むことができる

固定テープを外し、針を抜くことができる

絆創膏を貼ることができる

注射の手順～シリングポンプを使用して投与する患者さん～

チューブ付き翼状針をリスティーゴ®調製済みのシリングに取りつけることができる

シリングポンプの設定を行い、シリングポンプの早送り機能でチューブの先端まで薬液で満たし、投与量に合わせることができる

投与部位を決め、消毒することができる

投与部位の皮膚をつまみ、翼状針を刺すことができる

翼状針を固定し、シリングポンプで投与を開始することができる

薬液を全量投与し終えたらシリングポンプを止めることができる

固定テープを外し、針を抜くことができる

絆創膏を貼ることができる

注射の後に

片付けの方法を理解している

つながるノートやアプリに記録をすることができます

医師署名欄

上記内容を説明し、患者さんが理解したことを確認しました。

氏名

患者署名欄

医師より上記内容の説明を受け、理解しました。

氏名



探していたつながりを。欲しかった支えを。

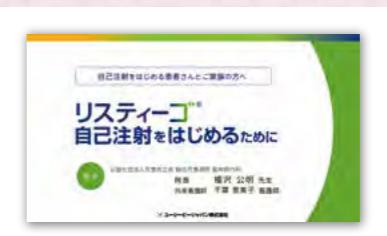
希少疾患とともに生きる患者さんのために、
もっとできることはないだろうか。
ユーシービージャパンが提供する患者サポートプログラム
「ONWARD」は、そこから始まりました。

患者さんの声に耳を傾け、
一人ひとりのニーズに深く広く対応すること。
いつも身近で支えているご家族や
医療従事者のサポートにもつながること。
そうした思いをONWARDのサービスに込めて、
患者さんが自分らしく過ごすための
サポートをお届けしています。

ONWARDとつながることで、一步踏み出す力に変わる。
そんな新しい明日へ、いっしょに。



サポートツール



動画「自己注射をはじめるために」
注射の打ち方などをわかりやすく
動画でご紹介しています。

リストイゴ® 専用保冷バッグ
リストイゴ®を医療機関からご
自宅までお持ち帰りいただく際などにご利用ください。



リストイゴ® 専用回収ボックス
医療機関へ持っていく必要のある
ものは注射後、回収ボックスに入れて
安全に管理してください。1サイクル
が終わったら医療機関へご持参
ください。



つながるノート
日々のMG症状やリストイゴ®
による治療の記録などのサポート
として、アプリが苦手な方や、紙で
管理したい方はご活用ください。



「ONWARDにつながるアプリ」
リストイゴ®による治療のサポート
をはじめ、みなさまに日常を快適
に過ごしていただくためのサポート
としてお使いください。治療状況
に越し、主治医との共有も行えます。